

2013年度 冬季研修会 報告 2

アンケート まとめ ご協力有難うございました！

～ これからの研修および会の活動に活かしていきます ～

講座の感想など

全体会

「子どもたちの将来をみすえた指導・支援の充実」

大阪府立泉北高等支援学校校長 長谷川陽一先生

- ・ 支援教育について法的観点から詳しく話しをしてくださったので、現在の状況を学ぶ事ができ、よかったです。高等学校の制度も、すごく多様化していることを知りました。
- ・ 支援教育の全体像、進路、キャリア教育など、支援に携わるものが知っておかなければならないことを、とても丁寧に教えて頂き大変勉強になりました。ありがとうございました。小学校では、通常学級や支援学級など、いろんな担任を持つことが多いのですが、インクルーシブ教育、合理的配慮など、どの学級の担任になっても知識として持つっておかなければならないと思います。
- ・ 長谷川校長先生のお話は、けっこう難しい内容のことですが、とても分かりやすくお話をいただいたので、私自身も理解がすすみました。
- ・ 自立支援コースと共生推進教室が、なぜ違うようになったのかが初めて分かりました。入試の時のトラブル、学校としての進路指導を位置づけてほしいというお話に全く同感ですが、制度としては、支援学級在籍の生徒は、通常学級に在籍している子とカウントされていません。生徒により違いますが、抽出教科1～3教科以外のほとんどの授業や行事を通常学級で過ごしている実態から考えると、当然ダブルカウントされるべきだと思っています。
- ・ 非常に分かりやすく、今教育現場ですべきことが将来へ向けて逆算してイメージすることができた。
- ・ とても参考になりました。小学校の支援学級の担任ですが、来年度から保護者が入学希望している児童について悩んでいました。施設設備的にも人的にも無理、その子の命の安全を保障できない。現在在籍している子どもたちの学習も保障できなくなる・・・ と思っていました。今でも気持ちは、変わっていません。ただ、法の動きや、その背景にある思想などについてのお話を聞いたことで、頭の中を少し整理することができました。また、支援学校の先生方と連携をしてみれば、というアドバイスもいただき、ありがとうございます。学校に持ち帰り話してみたいと思います。

- ・まさに自分の立場に重なるお話でした。インクルーシブ教育システムという考えは、受け入れながら、通常の学級、特別支援学級・学校の、それぞれができることを自分自身がより理解していかなければならないと感じました。普段から、「子の将来を考えて～」と思っているながら、自身の制度などの勉強不足を痛感させられました。小学校6年間だけでなく、一生を考えた上で、明日より一層考えを深めていきたいと思います。
- ・長谷川先生の話す内容が分かりやすく聞きやすかったです。障害者の権利、制度について、内容をくわしく理解できていなかったのが、勉強になりました。中学生の進路状況の推移を知り、進学先の現状を初めて知りました。予想以上に全日制高校への進学者数が多くて驚きました。将来を見ずえた、今しておくべき指導や支援について、実践的なお話も聞いてみたいと思いました。
- ・「大阪府の取り組みでは」などと言葉を置いてから制度の説明をしていただいたので、うちの自治体では違うのか、などとわかった上で聞くことができました。
- ・法律・制度が、国際的な流れの中で、いよいよ日本でも変わっていく、まさに、その場にいるのだなと自覚を強くしました。
- ・中学2年の支援学級生徒で、進路先が目の前に迫っているので、とても参考になりました。検査を受けても、ボーダーの子が手帳を取得できなくて、経済的にも厳しいので支援の手厚い私立高校にも行けない、そのような生徒の進路先に悩まされています。
- ・「障害者の権利に関する条約」について、以前にも学習したことがあったのですが、今日はとても分かりやすく、頭の中がスッキリしました。キャリア教育については、私なりに大切だと思っていたことを話されていたので、このまま続けていく後押しをしていただきました。子どもたち一人ひとりの将来を見据えながら、明日からの支援に取り組んでいきたいと思います。
- ・前半は法や制度の説明が多く難しく思いましたが、後半は小学校のころからの具体的に将来を見据えた子どもたちへの指導(キャリア教育を含む)や、保護者への対応・説明に役立つものだと思います。
- ・小学校勤務ですが、高校で何が必要なのか、そのためには今から小学校で何をしなければならないのかを知ることができ、とても勉強になりました。
- ・障害者の権利に関する条約や就学先・進路先の決定について、キャリア教育について、とてもよく理解でき、すっきりと整理できました。
- ・ユニバーサルな授業を今日の講義でも実践されていて、時間のめども立ち、安心して聴かせていただきました。

分科会（A） 「教育アセスメントの意義と活用」～WISC-IV、K-ABCⅡを中心に～

大阪府立佐野支援学校

清水謙二先生

- ・ WISC-IVについて教えてもらえてよかった。わかりやすかった。
- ・ 実際の事例を用いた話がわかりやすかった。
- ・ 前半はよくわかったが、後半は難しすぎてわからなかった。
- ・ もう少し基本的な内容がよかった。
- ・ 十分な理解という面では難しかった。これを機に勉強していきたい。
- ・ 時間が短かった。もう少しゆっくり聞きたかった。
- ・ 検査結果を基に、子どもへの具体的な支援を考えていきたいと思った。
- ・ 子どもの苦手なところを見がちだが、得意なところも見ていくことを大切にしたい。
- ・ 子どもの検査結果を見直して今後の指導に活かしたい。
- ・ 検査結果をうまく支援に活かしていないのが現状。今後も研修を重ねたい。
- ・ 支援の方針と内容の部分をもっと聞きたかった。
- ・ 子どもを思い浮かべながら確認していくことができ、本当によかった。
- ・ 今後は特定の人しか検査を実施できないと聞き、素早く適切な支援をしていくことに不安を感じた。
- ・ WISCは名称ぐらいしか知らず、とても勉強になった。
- ・ 検査者とよく話し合い、支援方法を考える必要があると感じた。
- ・ 検査に頼りすぎてもよくないと思うが、結果の分析をすることで子どもの様子を整理して見れると思う。
- ・ 校内で誰が検査していくべきなのか、どの子どもに検査が必要なかわからない。
- ・ 子どもの困り感、支援のあり方を考えることができよかった。
- ・ 検査結果から苦手分野がわかり、関連性がおもしろいと思った。
- ・ プラス思考から支援を考えることが重要だと感じた。
- ・ 検査を受けられる環境を整えていくべきだと感じた。

分科会（B） 「支援教育に関わる福祉制度について」

大阪手をつなぐ育成会 支援センター中 所長 杉山萬千子氏

- ・ 福祉について勉強不足の為、こまかく教えて頂きよくわかりました。保護者と懇談の中で出た疑問も解けました。
- ・ 自分の勉強不足が改めてよくわかりました。一人ひとりの質問に丁寧にお答え頂けたことがとてもうれしかったです。
- ・ とても参考になりました。これからも「手帳」について、取っていくことに抵抗のある保護者の方にも話をしていきたいと思えました。

- ・今年度から支援担任をしています。福祉サービスについては知らないことばかりで参考になりました。最後の質疑応答のところでよい質問がたくさん出て参考になりました。発達障がいの生徒の進路に対して不安を持っています。
- ・ややこしい制度について、現場におられた方から説明を聞くことができよかったです。難しかったけどなんとか概要は理解できたように思います。これからも勉強していきたいと思います。
- ・手帳に関する知識が浅かったので、詳しく教えて頂けてよかったです。将来を見据えてどのような制度の利用が可能か…等、教職員ももっと学習して保護者に対応していかなければならないと感じました。
- ・とても勉強になりました。知らないことばかりでした。また、調べ方（どこのHPだとか、大阪ではこの名称となっている…とか。）もよくわかりました。
- ・福祉制度について事情も交えて話して下さり、わかりやすかったです。療育手帳についても詳しく説明して下さり、内容についてより理解することができました。これを機に福祉制度についての知識をもっと増やしていきたいと思います。
- ・福祉制度について殆ど知らない事が多いので、とても参考になりました。特に計画相談支援の件についてはすぐ保護者に伝えようと思いました。
- ・福祉制度の基本的なところを分かりやすく説明していただき勉強になりました。参考資料をのせていただいたので帰ってから検索したいと思います。
- ・昨年より放課後支援（H24年度～）を学校で取り組んでいますが、なかなか全職員に理解してもらえず悩んでいます。介護事業所さんからいろいろ教えてもらっていますが…。今日はずっと深く学習したくて来させていただきました。今日聞かせて頂いた事を学校や、保護者へ伝えていきたいと思います。今後もっとももっといろいろ聞かせてもらいたいです。この様な機会をもっと増やしていただければ嬉しいです。
- ・ライフステージと福祉制度について、もっと具体的に詳しく知りたかったのにその部分の説明の時間があまりにも少なく期待外れでした。その後の質疑応答はとても参考になりました。
- ・福祉制度について今までほとんどの部分、自分が知らなかったということを知りました。とても参考になりましたが、もっと知るために、示していただいた参考資料を手に入れて学習しようと思います。
- ・子ども、保護者と向き合う中で出てくる制度について分かりやすい説明をしていただき、よかったです。
- ・手帳の種類や交付までの流れ、福祉制度などを詳しく説明して頂いたので、今後保護者と話をする際などで活用できると思います。
- ・精神障害者保健福祉手帳が、法定雇用率にカウントされるというのは朗報ですね。

分科会（C）研究部担当 各地区からの実践報告

①「ビジョントレーニングを学級に取り入れて」

和泉市立国府小学校 井阪幸恵先生・川村亜紀先生・徳永清恵先生

- ・私も小学校の支援学級担任で、ビジョントレーニングをとり入れています。それを学校全体で取りこんでいると聞き、とてもいいことだと思いました。さっそく、支援部会で今日の研修について語り、広めていきたいと思います。
- ・本を読んでやり始めていたのですが、具体的に実践の様子を教えてください、とてもよくわかりました。通常学級で、また通級教室で、支援学級で、と場面に応じての例を見せていただいて、しっかりとしたイメージができました。月曜日からすぐやっていきたいと思います。
- ・ひもつきお手玉やピンポン玉キャッチなど、遊び感覚でできるものもビジョントレーニングだということを知り、面白く思いました。さっそく休み時間にでもクラスの子とやってみたいと思います。
- ・豊富な実践を紹介して頂き、とても参考になりました。自分自身も昨年初めてビジョントレーニングという言葉を知り、少しずつやり始めたところですが、ちゃんと継続してやってこなかったもので、毎日続けていると、こんなにも効果があるのか、驚きでした。
- ・大変興味をもちました。なぜ書けないか、という疑問についても解決の糸口がつかめました。
- ・ビジョントレーニング！！来てよかったです。中学生でも成功してるという話を聞き、早速やってみようと思いました。
- ・学校全体でとり組むまで大変な苦労があったと思います。今回の発表を受けて、できることから取り組んでいかせていただきます。
- ・今、朝の会でビジョントレーニングを1学級でお試しさせてもらっています。自分のすすめ方がこれで良いのか、いつも試行錯誤でしたが、今回のお話を聞いて今回のものもとり入れさせてもらって、学校全体でやっていけるよう、成功例を作っていけたらと思います。
- ・ビジョントレーニングは、眼球運動だけでなく、脳への刺激を与え、集中力や心の落ち着きを生み、子どもたちがみるみる良い方向に変わっていくことを知り、目からウロコでした。

②「人生の振り返りと将来に向けてのステップ ～ICTを利活用した発表会の実践報告～」

大阪府立寝屋川支援学校 森脇 啓仁先生

- ・感動しました。周りと自分を比較するだけの力がある子は、他と自分を比べて苦しんできたんだらうな、と思います。でも、支援学級に来て色々な葛藤などを乗り越えたことが、4枚のスライドから感じられました。
- ・高等部の取り組みでしたが、小学校の子どもたちに必要な共通点がいくつもあり、これからの指導に活かしていきたいと思いました。（キャリア教育・人権教育）
- ・高等部で、この実践を本当によくできたなと思います。生き方学習だと思います。自信を持った子どもは、いきいきと生きることができるのだと思います。

- ・子どもの発表内容に感動しました。中学校の支援担ですが、保護者の中には、進路選択の際に、支援学校に行くことを嫌がられる方がありますが、こんなすばらしい支援学校があることを知って頂きたいと思いました。
- ・ICTの活用をしつつ、生徒と先生とのかかわり方がとても良いなあと思いました。信頼関係をもとに実践されたことがよくわかりました。
- ・自分を見つめるのが下手な子どもたち、劣等感でいっぱいの子はなおさら…ですが、ここまで掘りおこせるのがすごいなあと思いました。私たちも実践できるはずで、していかなければならないことだと思いました。
- ・「ICTの強みを活かす」というキーワードを参考にしたいです。全てをICT機器で行うのではなく、一度紙ベースに記述することも効果的だなと思いました。
- ・「できないかも」と思えることでも、教師が正面から子どもに向き合えば、子どもってやり切るんだなと感心しました。
- ・卒業に向けて、ふり返りの作文づくりやおわかれ会などが企画されているので、とても参考になりました。自信をもって巣立たせるために、きめ細かい指導と配慮があることがよくわかりました。
- ・文字では書けなくてもパソコンになら正直になれる、というところが心に残りました。パソコンを有効に使うことで子どもたちの可能性を引き出されて、将来に希望が持てるまでにされたことが素晴らしいです。
- ・ICTの発表を通して、「人前で話すこと」「成功体験を味わう」ということは、小学校の時から積み上げていくことが大切だと思いました。そのことを意識して行っていきたいです。
- ・計画的に一つ一つ実践を積み重ねて、これまでの自分を振り返り、これからを見つめることができたのだと思います。一つのものを作りあげることが大切だと思いました。

2. 研修会の運営全体について

- ・〆切りぎりぎりだったのに、すぐ参加OKの返信メールがきて、すばやい対応をしていただきよかったです。
- ・HPでの申し込み後とてもスムーズに連絡が帰ってきてよかった。
(同様のご意見が多くありました)
- ・会場が少し寒かったです。府のセンターなので仕方ないですね。(同様のご意見多数)
- ・学びの機会を作っていただき、ありがとうございました。(同様のご意見多数)
- ・申し込み期間を長くとっていただいたので、助かりました。
- ・何度か案内を学校に送付していただいて、よかったです。(同様のご意見多数)
- ・よかった。スライドが、やや見えにくい点だけが残念だった。
- ・パワーポイントが見にくかった (同様のご意見多数)

- ・堺市の職員ですが、この研修会の情報を回してもらえて助かります。今後もそうしてもらえると嬉しいです。
- ・HPの研修案内の初めに間違った時刻(10:30～)が記されていたので遅れてしまい残念でした。しかし、ご丁寧にお話し下さりありがとうございました。
- ・土日よりも水曜日の午後に実施してほしい。
- ・休日に研修会を開いてくださるのは、日ごろ忙しく行事などの多い学校生活を送っている私たちにとって、ゆっくりとお話を聞くことができ、とてもありがたいです。
- ・いつも役に立つ内容でやっていただいているので、休日でも参加しようとする気になります。
- ・午前と午後の一日の研修でなく、午後1:30～4:30(80×2)の方が参加しやすくなる。
- ・夏休みに2回研修してほしい。(長期休業日の方が参観等と重なりにくい)
- ・分科会Cでは、小学校と高等部の実践を聞きましたが、小学校勤務なので、2つとも小学校の実践報告だと良かったなあと思いました。高等部の実践報告もすばらしいものでしたが、小と高は少しかけはなれているので…。
- ・休日の研修会は、ゆっくり参加することができるので、嬉しいです。発表してくださる先生や運営にあたる先生方は大変でしょうが、また色々と企画 お願いします。
- ・他の分科会も気になる所があるので、まとめたレジメをもらえたら嬉しいです。
- ・支部への報知周知がむずかしいですね。
- ・せっかくの発表を携帯で撮影する方が何名かいたが、それは発表者に対して、非常に失礼な行為である。
- ・HOW TOを求めているわけではないけれど、実践報告は自分の担当している子どもたちの姿と重ねやすく、自分のとりくみを振り返るよい機会になります。

3. これからどのような研修会や講演会を行えばよいか

- ・今回の進路の話、とても勉強になりました。今まで聞いた中で一番詳しくかったです。それぞれの市でもぜひ研修していただきたいです。
- ・今日のような、午前中は、情勢や支援教育を大きくとらえ、午後は専門性ある内容。
- ・発達障がいと不登校との関連や対応について学びたいと思います。
- ・障がいを持った生徒に寄り添った学級づくりのコツ、考え方を小中学校の先生向けに提案していただければ、教育現場のインクルーシブ教育がより進むのではないのでしょうか。障がいの有無に関わらず、居心地良い学級づくりは、子どもの心の荒れを防止するために、人格形成上急務だと感じています。
- ・教師が悩んでいる子どもの状態をテーマにした講演
- ・通常学級の児童・生徒への理解教育を具体的に実践例とともに教えてほしい。
- ・iPad やタブレット、パソコンを使う教材と使い方を知りたい。
- ・今日のようなWISC-IVの研修を受けたい。
- ・具体例を挙げた研修がとても役に立つ。
- ・支援担として、学級担任として、子どもにどう関わるか色々な事例を参考にしたい。
- ・K-ABC IIについて研修してほしい。
- ・通常の学級における支援の方法を研修してほしい。
- ・大学や短大で行われている発達障がい、知的障がい等をもつ学生に対する支援の具体例などを聞きたい。
- ・米田和子先生によるティーチャーズトレーニング、ペアレントトレーニングを2日間、人数を少人数にして実施していただくとありがたいです。(土日や長期休業中に)
- ・今日のような「明日学級で使いたい」と思えるような実践報告をしていただくと嬉しいです。
- ・感情のコントロールが難しい子どもへの対応の仕方を具体的に知りたいです。(家庭との連携の取り方について)
- ・書字訓練(鉛筆の持ち方)、姿勢保持、体感トレーニングを研修したいです。
- ・今注目されているタブレットの活用法、現状を知りたいです。
- ・特別支援の最新情報(国や大阪)など